

2023 ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会の結果報告について

2009年の第1回大会から数え、13回目の開催となる「2023 ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」（主催：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会）を令和5年5月13日（土）、14日（日）の両日に開催しましたので結果を報告します。

1 競技結果

(1) 5月13日（土）エリート（トップアスリート）大会

競技種目	出走者数	完走者数	完走率
エリート	120 (92) [男 60/女 60]	101 (78) [男 49/女 52]	84.2% (84.8%)
エリート パラトライアスロン	70 (67) [男 43/女 27]	67 (42) [男 41/女 26]	95.7% (100%)
参加国	32の国及び地域		

() 内は 2022 大会

主な成績

(エリート)

【女子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	ソフィー コールドウェル	イギリス	1:53:32
2位	ロサ マリア タビア ビダル	メキシコ	1:53:49	
3位	テイラー ニブ	アメリカ	1:54:02	
(日本人)				
29位	佐藤 優香	日本	1:56:53	
39位	高橋 侑子	日本	1:58:37	
【男子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	ヘイデン ワイルド	ニュージーランド	1:42:13
2位	マシュー ハウザー	オーストラリア	1:42:17	
3位	バスコ ビラサ	ポルトガル	1:42:18	
(日本人)				
11位	ニナー 賢治	日本	1:43:08	
19位	北條 巧	日本	1:43:36	

(パラトライアスロン)

○切断や麻痺など肢体不自由の立位の選手が出場するクラス（PTS4）

PTS4 【男子】 レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	アレクシ アンカンカン	フランス	0:57:59
2位	カーソン クロフ	アメリカ	1:01:35	
3位	エリック マケルベニー	アメリカ	1:01:42	
4位	宇田 秀生	日本	1:01:55	

○ハンドサイクルや競技用車いすを使用する選手が出場するクラス（PTWC）

PTWC 【男子】	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1位	木村 潤平	日本	1:03:13

(2) 5月14日(日)エイジ(一般)大会

競技種目	出走者数		完走者数		完走率
エイジパラ トライアスロン	19 (23)		17 (17)		89.5% (73.9%)
	男	女	男	女	
	17 (19)	2 (4)	15 (13)	2 (4)	
エイジ スタンダード	1,090 (1,100)		964 (956)		88.4% (86.9%)
	男	女	男	女	
	948 (956)	142 (144)	843 (826)	121 (130)	
エイジ スプリント	256 (249)		216 (219)		84.4% (88.0%)
	男	女	男	女	
	198 (197)	58 (52)	165 (172)	51 (47)	
エイジリレー	75[25組] (72[24組])		72[24組] (63[21組])		96.0% (87.5%)
合計	1,440 (1,444)		1,269 (1,255)		88.1% (86.9%)

※ 最年少出場者 16歳、最高齢 85歳

()内は2022大会

2 コース

山下公園をメイン会場に、赤レンガ倉庫、みなとみらい21地区など横浜の観光名所を周回するコースです。(エリート、エイジスタンダードのコースは4ページ目参照)

5月13日(土)のエリート大会は、事前予報から天候悪化の恐れがあったため、コースの一部を変更し安全な競技運営に努めました。

【参考】各種目の距離

- ・スタンダードディスタンス (スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km、全体 51.5km)
エリート、エイジスタンダード、エイジリレー
- ・スプリントディスタンス (スイム 0.75km、バイク 20km、ラン 5km、全体 25.75 km)
エリートパラ、エイジパラ、エイジスプリント

3 観戦者数

約 331,000 人 (13日(土) 約 102,000 人、14日(日) 約 229,000 人)

4 ボランティア

延べ約 800 人

5 映像発信

(1) 5月13日(土) エリート大会

ア NHK BS1 10:05~15:10 エリート女子・男子競技を生中継

イ Triathlon LIVE 6:45~全競技大会終了

(2) 5月14日(日) エイジ大会

大会WEBサイトでのオンライン配信 6:50~競技終了

6 2023年大会のトピック

(1) キッズプログラムを4年ぶりに実施

横浜の未来を担う子どもたちが、こどもスポーツ記者やエイドキッズなど、大会の様々な場面でトップ選手と触れ合いました。

【プログラム内容】

プログラム名	内容
こどもスポーツ記者	エリート選手を取材・撮影「横浜こどもスポーツ新聞」を発行
エイドキッズ	フィニッシュ後の選手にタオルやドリンクを提供
エスコートキッズ	メダルセレモニーで選手と手をつなぎ表彰台までエスコート
ブーケキッズ	メダルセレモニーで表彰選手にブーケ（花束）を贈呈
ハイタッチキッズ	スタート前の選手をハイタッチで送り出し
キッズ応援隊【新規】	フィニッシュ直前の選手への声援やハイタッチで大会を盛り上げ

(2) ハマトラ FES の拡充

大会を通じたにぎわいづくりの取組として、象の鼻パークで「ハマトラ FES(フェス)」を実施しました。4年ぶりのステージイベントの実施や昨年よりブース出展を増やすなど、内容を拡充しました。

【実施概要】

開催日程	5月13日（土）／14日（日）9:00～17:00
場 所	象の鼻パーク
実施内容	①ブース出展 トライアスロン・スポーツ用品関連ブースや、キッチンカー・飲食ブースなど、昨年から10団体増やし、41団体のバラエティ豊かなブースで、会場ににぎわいを創出 ②ステージイベント ・大型ビジョンによるエリート競技のパブリックビューイング ・ステージパフォーマンスやトークセッション ・ブレイキンのこども向け体験会を実施

(3) 英国トライアスロン代表チームとの交流

横浜市では、東京2020大会での事前キャンプ受け入れを契機に、英国との交流を続けてきました。

大会に先立ち、英国トライアスロン・パラトライアスロン代表選手と横浜市の小学生による交流会を実施しました。

【実施概要】

開催日程	5月10日（水）16:00～17:00
場 所	ホテルニューグランド 本館2階 レインボーボールルーム
実施内容	【参加者】 <英国トライアスロン代表チーム> トライアスロン代表選手 5名／パラトライアスロン代表選手 3名 ほか <横浜市の小学生> 横浜市立元街小学校の児童 9名 【内容】 小学生から選手への質問、応援メッセージ、記念撮影 など

<コース図> 5/13 (土) エリートコース



<コース図> 5/14 (日) エイジコース



5/13 (土) エリートパラ・エリート



エリートパラ



エリート

5/14 (日) エイジ



赤レンガ ランコース



スイム前の様子

その他の取組



キッズプログラム



ハマトラFES会場



英国代表チームと小学生との交流

- ◎ Shugo TAKEMI/2023 Yokohama Triathlon
- ◎ Shinji KAWATA/Japan Triathlon Media

正 誤 表

《 1 ページ 》

1 競技結果

(1) 5月13日(土) エリート(トップアスリート) 大会
表中のエリートパラトライアスロン出走者数

【誤】

70 (**67**)
[男43/女27]

【正】

70 (**42**)
[男43/女27]

【訂正後】

競技種目	出走者数	完走者数	完走率
エリート	120 (92) [男60/女60]	101 (78) [男49/女52]	84.2% (84.8%)
エリート パラトライアスロン	70 (42) [男43/女27]	67 (42) [男41/女26]	95.7% (100%)
参加国	32の国及び地域		